



やまな

周南たちばな学園

袋井市立山名小学校

学校だより No.12

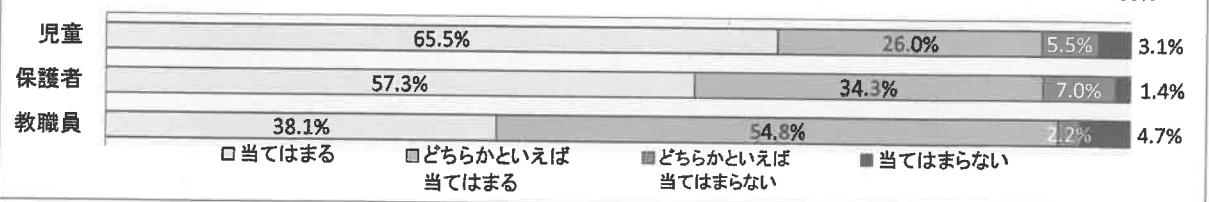
令和2年9月28日発行

山名小学校の教育活動に関する調査(7月実施)のまとめ(概要版)

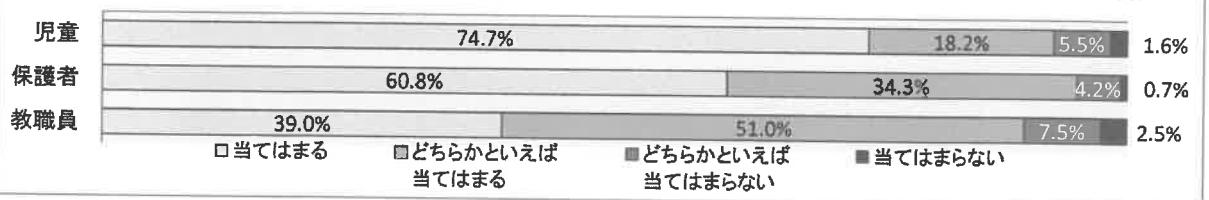
7月に実施した本年度1回目の山名小の教育活動に関する調査の結果がまとまりましたので、御報告いたします。調査への御協力、またたくさんの御意見をいただき、誠にありがとうございました。

○三者(児童・保護者・教職員)共通の質問事項の結果一覧

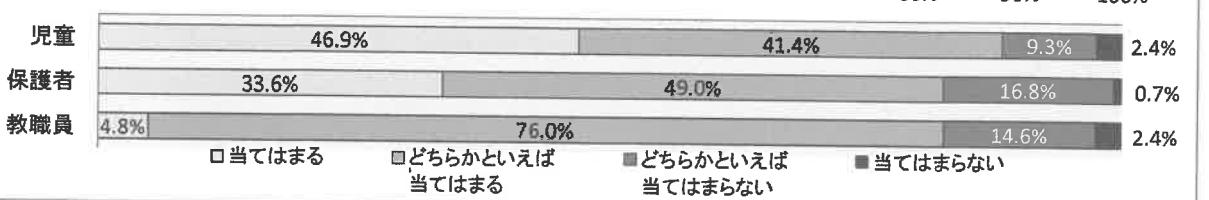
		質問1		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	学校が楽しいです。【一貫】			65.5%	26.0%	5.5%	3.1%
保護者	お子さんは、学校が楽しいと感じていると思います。【市】			57.3%	34.3%	7.0%	1.4%
教職員	子どもたちは、学校が楽しいと感じていると思う。			38.1%	54.8%	2.2%	4.7%



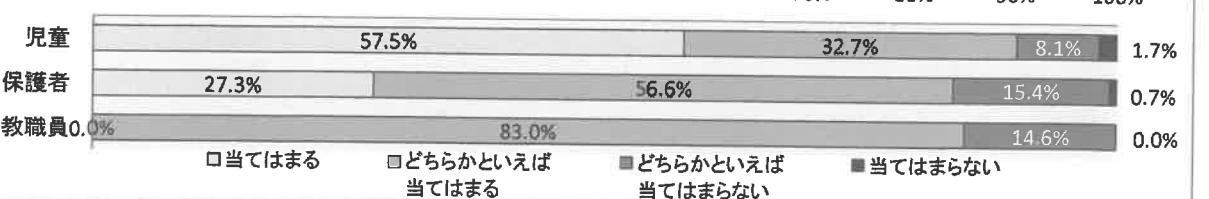
		質問2		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	みんなで何かするのは楽しいです。(行事・グループ活動・チームでのゲームなど)【一貫】			74.7%	18.2%	5.5%	1.6%
保護者	お子さんは、みんなで何かするのは楽しいと思っています。【市】			60.8%	34.3%	4.2%	0.7%
教職員	子どもたちは、みんなで何かするのは楽しいと思っている。			39.0%	51.0%	7.5%	2.5%



		質問3		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	授業に主体的に(自分から進んで)取り組んでいます。(聴く・話す・考えるなど)【一貫】			46.9%	41.4%	9.3%	2.4%
保護者	お子さんは、授業に主体的に取り組んでいます。			33.6%	49.0%	16.8%	0.7%
教職員	子どもたちは、授業に主体的に取り組んでいる。			4.8%	76.0%	14.6%	2.4%



		質問4		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	授業がよく分かります。(分かった・なるほど・できるようになったなどと感じる)【一貫】			57.5%	32.7%	8.1%	1.7%
保護者	お子さんは、授業がよく分かっています。【市】			27.3%	56.6%	15.4%	0.7%
教職員	子どもたちは、授業がよく分かっている。			0.0%	83.0%	14.6%	0.0%





令和2年度 第1回学校評価 三者比較一覧

山名小学校



○アンケートの結果についての考察

袋井市の教育が目指す子ども像「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」の評価指標を含め、4択の「当てはまる」の数値に着目して評価を行いました。

質問1～4については、「周南たちばな学園として、『授業に主体的に取り組む』児童の姿を大切にしながら教員による授業改善を進め、教育活動を見直すことが、『授業がよく分かる』、『みんなで何かするのは楽しい』と感じる児童の姿につながると考えます。そして、それぞれの項目が密接にかかわり合いながら、結果的に『学校が楽しい』ものになると考えます。また、授業や行事等で互いの思いや考えを尊重し、関わりを大切にしながら、各学年で段階的に様々な取組を進めることで、児童は充実感や満足感、自己肯定感を得ます。そこから全ての児童の『自分には良いところがある、必要とされている』という自己有用感(自分に対する自信)を育てたいと思います。そこで、質問10、11のように話したり聴いたりする場合に相手意識をもたせ、対話を繰り返すことで、自分の考えを深めたり、よりよい考えを創り出したりするような場面を設けたいと考えます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による影響がありますが、学習面でもこれまで同様、授業や山名っ子ノート(家庭学習)の充実と積み重ねを大切にしています。

質問5～7は、本校で大切にしている「あ・は・は」活動についてです。返事の数値は7割を超えた一方で、あいさつやはきものの数値は5割程度で推移している傾向に大きな変化はありません。民生委員の方々や中学生といった地域の方、校内では委員会活動等でもあいさつを呼び掛けています。「あ・は・は」活動を当たり前のように実践する児童の姿を認め広げたり、繰り返し指導を行ったりしながら、児童への定着につなげます。

質問8、9については、互いに尊重し合いながら違いを認め合ったりよさに気付き合ったりすること大切にしてほしいと願っています。よりよい集団づくりや集団生活の基礎を築くために、時には思いや考えをぶつけ合いながら、自らを集団の中でステップアップさせることができます。そのために、学級の雰囲気を高められるような声掛けや取組を進めます。

○保護者自由記述欄の御意見について

貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。いただいた御意見を参考に、今後の教育活動のさらなる改善につなげてまいります。また、学校や担任の取組について御理解をいただいた御意見もいただきました。保護者の皆様から温かい御支援の言葉をかけていただいたことに感謝申し上げます。

○2学期の取組について ~ 御家庭でも御協力ください。

- >「あ・は・は活動」の推進を継続する。
 - ・委員会や係の活動でも取り組み、あいさつや返事、はきものの意識を高める。
 - ・「先取りあいさつ」ができている児童をほめ、自己有用感(自分に対する自信)を育てる。
- >「自己有用感」をもつ子を育てる。
 - ・友達や自分のよさや頑張りを互いに認める場(授業や学級内の活動での振り返りなど)をつくる。
 - ・児童が主体になって活動に取り組む。
 - ・清掃の進め方を確認し、自分で考えて黙働清掃をする習慣を身に付ける。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を念頭に、委員会活動や縦割り活動、学年集会など、児童が主体になって計画を立てて取り組むことができるような場や機会を大切にする。
- >主体的に学習に取り組む態度を養う。
 - ・自分が学習したことを振り返り、その日、その時間に自分が学んだことや疑問、思いなどを書いたり話したりすることで、学んだことを自覚できるようにする。
- >学校生活における安全指導・歩行指導を継続する。
 - ・「雨の日の昼休みは読書などを過ごす。」「教室移動をする際には、学級毎で整列して移動する。」など安全、安心な生活を心がける。
- >学校生活における新しい生活様式を意識し、新型コロナウイルス感染症対策を継続する。

今回も本内容について、学校ホームページ(<http://bansyu-school.jp/fukuroi-yamana-e/>)の「お知らせ」に、グラフ付きのアンケート結果や保護者の皆さんの御意見、学校の回答を掲載する予定です。ご覧ください。

担当:主幹教諭(安間)
電話:48-6295